

『グラングリーン大阪』でつながる!

# ひと・街・未来

多様につながる未来都市  
『グラングリーン大阪』  
9月先行まちびらき

UR都市機構が大阪府、大阪市、グラングリーン大阪開発事業やJR西日本などと連携し、2027年の全体開業に向けて開発を進めている、うめきた2期区域『グラングリーン大阪』の一部エリアが2024年9月に先行まちびらきする。大規模ターミナル駅直結の都市公園としては世界最大規模を誇るうめきた公園のサウスパーク全面とノースパークの一部のほか、地上26階建にホテルやテナントを擁する北街区賃貸棟、大阪駅方面とつなぐ歩行者デッキが完成し、高い利便性・回遊性を持つ憩いの空間が誕生する。

うめきた公園は、上質な天然芝や季節の花木が楽しめる心地よい広場。大屋根イベントスペースでは1万人規模

模のイベントが開催できることもあり、様々な交流を生み出す場として期待されている。また、災害時には防災公園として機能。一時避難場所となり3万人近くを収容できるだけでなく、負傷者の応急処置や救援物資を配給する防災拠点となるよう想定されている。大阪駅周辺にあふれると予想される多くの帰宅困難者を誘導しやすい駅直結の立地を活かし、大規模災害に備えている。

大阪らしいつながりや活気を纏いつつ、さらなる発展を牽引するグラングリーン大阪の未来に注目だ。



## 安心・安全につながるURの取り組み

### 遺跡を守り防災公園として整備「安満遺跡公園」

大阪府高槻市にある安満遺跡は、弥生時代に開かれた環濠集落跡を含む大変貴重な遺跡です。この遺跡の上には長年にわたり京都大学の農場があったため、あまり知られていなかったのですが、同農場の移転に伴い、URは高槻市からの要請を受けて遺跡を活かした防災公園へと整備しました。

公園の一番の特徴は、緑のオープンスペースがたくさんあること。これは災害時に広域避難地として機能します。加えて避難者が3日間滞在できるだけの飲料水がまかなえ

る耐震性貯水槽や、停電時のためのソーラー照明、非常用トイレになるマンホールなども備えています。



### 安満遺跡公園で探してみよう! 「マンホールトイレ」

安満遺跡公園には、災害時にトイレになるマンホールがあります。大きな災害時でも安心してトイレが使えることは、心身の健康のためにもとても大切です。遊びに出かけた時には、ぜひ探してみてください。



## URのPR!

西日本支社 都市再生業務部 業務推進課 井之上穂香・井上隆久

一般のお客様には賃貸住宅の印象が強いと思いますが、実は大小様々な都市のまちづくり・まちおこしといった開発事業にも携わっています。例えば、南海トラフ地震で大きな津波被害が予想されている徳島県美波町では、津波防災まちづくりをサポートしており、避難場所や防災拠点などの機能を備えた防災公園となる高台を造成中です。また、美波町の経済活性化を目的に地元の方々とアイデアを出し合い、町内外の事業者や商店、大学などとともに「美波夜市(ミナミナイトマーケット)」を開催するなど、地域の人たちを中心とした賑わいあるまちづくりも支援しています。

私たちはこれまでの事業を通して培ってきたノウハウを活かして、また新たな地方の課題解決に取り組んでまいります。これからもURにしかできない防災につながる取り組みや、人やまちを元気にする活動について発信していくので、ぜひご注目いただければと思います。



広告

企画・制作／毎日新聞社営業総本部